

1	審議会名	図書館協議会
2	日時	平成 28年 6月 15日 午後 6時 30分から午後 8時 30分まで
3	会場	上田情報ライヴ 2F
4	出席者	中澤会長、新山副会長、山崎委員、大塚委員、小竹委員、加藤委員
5	市側出席者	山崎館長、飯島館長、山口次長、土屋次長、木嶋次長、嘱託職員内山、土屋係長
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	2人 記者 人
8	会議概要作成年月日	28年 6月 15日

協議事項等

1 開 会

2 会長挨拶

お時間を割いていただき、御出席いただきありがとうございます。重要な構想の策定であり、限られた期間での協議ですので、効率的に進めていきたいので協力をお願いしたい。

(4月の移動による新任職員 自己紹介)

3 協議事項

(1) 第二次上田市図書館基本構想策定について(説明)

第二次上田市図書館基本構想策定スケジュール及び会議日程

策定は、教育委員会であり、社会教育委員会に諮問し、答申を得るという流れのなかで、図書館協議会は、館長の諮問機関であり、図書館基本構想の素案についてご意見をいただく形となっている。

第二次上田市図書館基本構想は28~29年度で策定予定とお伝えしたが、平成29年度の実施計画提出に間に合うようにスケジュールを追っていくと、社会教育委員会との兼ね合いもあり、図書館協議会の現委員さんの任期中で協議をいただきたい。したがって、28年度の10月までには、構想素案作成の検討会議を開催いただきたい。

図書館協議会開催日程につきましては、事前に正副会長さんのご都合をお聞きし、別紙日程(案)の通りをお願いしていきたい。

(次回開催は7月15日予定となる)

(第一次) 上田市図書館基本構想の内容と検証(説明)

・図書館施設については、蔵書スペースが市内図書館全てが、ほぼ満杯状態であり、新たに施設整備する館で対応するしかない。エコールの活用や分担収集などの工夫が必要。

蔵書数については第一次基本構想では上田市全体で70万冊を目指していたが、今後の人口数などを視野に入れると70万冊でいいのかどうか検討が必要では。

・図書館の利用については、貸出冊数は減少傾向から横ばい状態であり、来館者数にも目を向ける必要がある。気軽に立ち寄りゆったりと閲覧でき、開架スペースで選んで貸出利用できる図書館にしていく必要がある。

・図書館の運営については、中長期的展望に立っての図書の受入、各館に置いて役割分担・選書基準の作成、さらにエコール内での役割分担が必要である。そのためには上田図書館を中央図書館化し、各図書館については特色ある運営にしていく。

・生涯学習施設であり、地域で不足している施設などとの複合化も検討していく。

・きめ細かな図書館サービスを提供するには、身近な図書サービスを受けられる拠点整備や移動

図書館車の充実活用、レファレンスサービスの充実が必要。

- ・さらなる市民協働による図書館運営や地域の文化活動を支えることの必要性。
- ・図書館の規模としては、第一次基本構想ではH44年度には蔵書数70万冊（上田市全体）開架率60%を見込んでいるが、限られたスペースでは必要な図書の計画的な受け入れが必要であり、エコールの有効活用が望まれる。
- ・限られた予算と人員での図書館運営をし、かつ地域の図書館の特色をだすには市全体での効果的・効率的な図書館運営は必要となる。中央的図書館の機能強化が必要となる。
- ・図書館分室については、創造館分室と武石公民館図書室のこれからを考えていかなければならない。創造館は、広域連合の図書室との併設なので、共同で協議していかなければならない。地域図書館化していく必要があるのか、また、位置づけが明確でなく条例化もされていない。
- ・図書館の機能とコミュニティー施設としてのあり方も考えていく必要がある。
- ・新たなサービス拠点施設の検討・活用が必要。
- ・サービスポイントの拡大（上田女短、信州大学などの大学との連携）
- ・策定時の目標数については、上田図書館のみが策定値に達していない。
- ・学校図書館のエコールの活用としては、現在依田窪南部中学を除いて各学校に端末が設置されている。
- ・移動図書館のイベントへの運行なども考えていく必要がある。
- ・併設機能として、施設整備の終わったところは、運営面で機能併設を検討しなければならない。
- ・直営だけではなく、一部指定、一部委託の検討も必要ではないか。

（委員質問）

- ・図書館基本構想の全体像が見えないが、重点項目のみの論点検討だけでよいのか。
- ・図書館の視察（小平市立図書館・海老名図書館）の感想意見等はどんな意見が出ているか参考にしたい
- ・議会の創始会行政視察をした福岡県小郡市の「指定管理から直営に戻した市立図書館の運営」については、何か聞いているのか。

（事務局）

- ・基本構想の素々案（全体）を示したいと考えている。
素々案を示しながら、その中で重点項目を検討していただきたい。
- ・図書館の視察のまとめは次回お配りしたい。
- ・議会の行政視察の関係については、把握していない。

図書館利用者アンケートについて

- ・各図書館の来館者にアンケートをお願いする。約1カ月間を予定している。
- ・アンケートの結果については図書館基本構想に入れて意見を反映させていきたい。

（委員質問）

アンケートですが、エコールについての質問がないが、あった方がよいのではないかと。

（事務局）

エコールについて、「知っていますか」といった質問を入れていきます。

（委員質問）

職業について質問しているとこれですが、「主婦」のところに「主婦（夫）」としたほうがよいのではないかと。

（事務局）

他のアンケートの参考に、「主婦（夫）」としていきます。

各図書館の状況について（各館説明）

- ・利用者登録数が大幅に減っているが、利用者カードの有効期限を設定したことにより、利用していない方のカードが除籍になってきているため、利用者の実数に近づいてきている。
- ・合併 10 周年記念事業で、4 館合同の貴重資料巡回展示と講演会を企画している。
- ・議会の一般質問で、図書館の関係の質問があった。
 - 「読書通帳機を導入することはどうか」については、エコール全体で考える必要があり、また経費等の面から難しい
 - 「セカンドブック事業を行うのはどうか」については、これから検討していく。
 - 「本庁舎に図書館を併設してはどうか」については、現段階では、難しい。

* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1 週間以内に行政改革推進室へ提出してください。

* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。